



二俣川小だより



3月号

横浜市立二俣川小学校

平成31年2月25日

発行責任者

校長 池田 千晶

つながる

池田千晶

校舎裏の土手に水仙が見事に咲き誇っています。職員に聞くと、その年によって咲き具合が違うようですが、今年は大きくて立派な花を咲かせています。校長室にもその水仙を飾っていますが、春の訪れを感じる爽やかな香りが漂っています。145年の歴史の中で、どのくらい前からあの水仙の球根が育ってきたのでしょうか。地面の中で地道に着実につながってきた証の一つでしょう。



子どもたちの中にも脈々とつながってきている事があります。例えば、1年から6年生まで縦割りにした、なかよし活動も5年生が中心になって6年生に感謝の気持ちを伝えます。秋の全校遠足で、6年生と一緒に下見をし、当日の姿をみて6年生というものは、こんな風にリーダーシップを発揮するんだと目の当たりにしてきたはずです。その学んできた事を発揮し、二俣川小の文化をつないでいく番です。掃除をてきぱきしている4年生に「いよいよ、来年は高学年だね。その掃除の姿はとても立派だから、ぜひ来年もお手本になってね。」と声をかけました。するとその子は「いよいよ、高学年かあ。」と、天井を見て感慨深そうにしていました。本校の高学年のイメージを思い描いていたのでしょうか。それぞれの学年の文化をつないでいく一つの姿です。

他につないできたものはたくさんあります。2月20日に行われた「ありがとうの会」も、地域と学校がつながり、学校に尽力していただいた方々に感謝をする会でした。2年生は生活科で、生まれてから今までを振り返り、自分が成長してきたのは保護者の方を含め、様々な人に支えられてつながってきたからこそ大きくなったことを、実感する学習をしています。今月の生活目標の「感謝の気持ちを伝えよう」は、今までつながってきた、人・もの・ことに、様々な場面で感謝する、素敵な取組です。

今年度の始めに保護者の方々に、「笑顔をつなぐ」という方針をお示しました。振り返ると、うまくつながれた場面と反省する場面と両面あります。保護者や地域の方々と笑顔がつながった場面はさらに学校の力にして、そして反省する場面はより良い力になるようアイデアを考えていきたいと思います。今年度、物心両面で学校と共に、子どもたちを支えて育てていただきましたことに深く感謝いたします。今年度も残り1ヶ月を切りました。来年度によりよくつながるよう、職員一同、全力で学年のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。ご理解ご協力をお願いいたします。

3月より留守番電話の設定時間を18:00に変更します ~職員の笑顔が子どもの笑顔をつくる~ :

先月号でお知らせしましたように、3月より留守番電話を18:00に設定します。職員が元気で笑顔でいることで、子どものより良い教育活動をおこなうことができると、教育委員会が積極的に働き方改革に向けて取り組んでいる一つです。変更に伴い、ご不明な点などがあればお問い合わせください。ご理解のほど、よろしく願いいたします。